

私はこの島・この故郷が大好きです。私は、1才7ヶ月の頃から祖母と祖父のいる加計呂麻島に住んでいます。離島で、不便なこともあります。が、「こんなところつまらない。」なんて、思ったことはありません。逆に「住んでいてよかったな。」と思うことは、星のように数えきれないくらいたくさんあります。だから、私はこの島やこの島に住んでいることを誇らしく思います。加計呂麻島の良さをもっともっと知ってもらうために、私が誇らしく思っている理由を4つ紹介します。

1つ目は、テレビで加計呂麻島が取り上げられることが多くなったことです。少し前までは、奄美大島の本島だけが取り上げられることが多かったのですが、近頃は、世界自然遺産に期待がかかっていることもあり、加計呂麻島がよく取り上げられています。私はその様子を見て、自分事のようにとてもうれしく思います。世界中の方々にこの加計呂麻島のことを少しずつでも知っていただけているのだなあと思うと、加計呂麻島に住んでいることに誇りを抱きました。

2つ目は、観光客の方が増えてきていることです。加計呂麻島の美しい自然を体験しに来てくださったり、見に来てくださったりしてる方々が年々増加しています。ある時、観光客の方々を見かけました。観光客の方々は美しい景色の写真を撮りながら「本当にきれいだね。来てよかった。また来たいね。」とおっしゃっているのを耳にしました。私は胸が熱くなりました。来て体験したり、見たりしてやっと分かるこの島の良さ。この島の良さが観光客の皆さんの心に届いていることに私は心の底から感動しました。

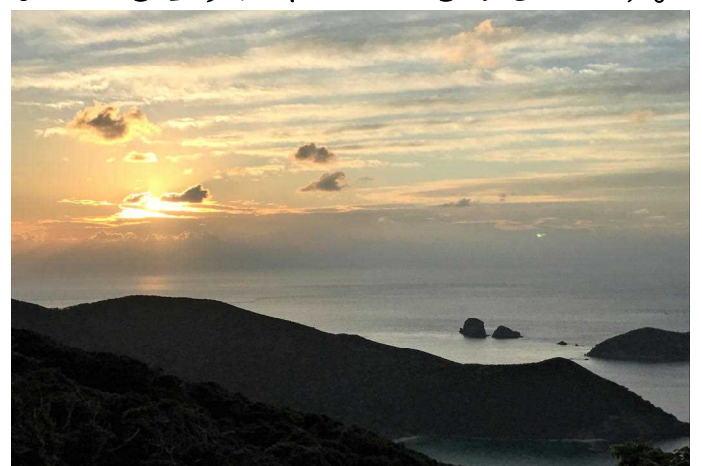
3つ目は、島の方々の心の優しさです。私はこの島の方々のあたたかさには一番誇りを持っています。初対面の人や子どもに対しても困っていたら声をかける。そして、助けてあげる。これは加計呂麻島だけでなく、奄美の昔からの伝統の心だと私は思っています。私はそんな島の方々の心が好きです。そのあたたかい心を島人として受け継いでいきたいです。

そして4つ目は、この島自体です。島の景色は傷ついた心までも癒やしてくれます。何かあって、落ち込んでいたとき、私は島の夕日で真っ赤に染まる海を見て、何度救われたでしょう。見ているだけで、心が落ち着き、島の見えない優しさが心をそっと包んでくれます。

私は、今中学3年生です。来年、私はこの大好きな加計呂麻島を進学のために離れることになります。とても寂しいし、悲しいです。しかし、考え方を換えれば、これはチャンスです。住んでいた人でしか分からない加計呂麻島の魅力をもっと発信できるということです。日本中の人々に、そして、世界中の人々に加計呂麻島をもっと好きになってもらうチャンスでもあるのです。

私たち島人は島のよさ、島の伝統を伝え、受け継いでいく義務があると私は思います。今、島で育って外に出ている人と住んでいる人が、協力して、島の魅力を伝えていくことで、世界中によさが輪になって伝わっていくことでしょう。

私は島から出てもこの故郷、加計呂麻島のよさ、魅力を伝えていきます。島人としての誇りを胸に、私は胸を張って生きていきます。



「フントーニ クマヤ ティッシカ ネン ワンヌ タカラヌ シマジヤンカラン」

(だって、私の一つしかない大切な故郷だから)